

Title	京都ベンチャー企業の新しい成長力評価方法 - 経営資源提供者ネットワークからのアプローチ-
Sub Title	
Author	辻野周(Tsujino, Amane) 鈴木貞彦
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2001
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2001年度経営学 第1701号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002001-1701">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002001-1701</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	鈴木研究会	学籍番号	80028583	氏名	辻野 周
(論文題名)					
<p>京都ベンチャー企業の新しい成長力評価方法          -経営資源提供者ネットワークからのアプローチ-</p>					
(内容の要旨)					
<p>京都は1950年代頃から村田製作所、堀場製作所、京セラなどハイテクベンチャー企業が数多く成長してきた街である。その京都に次世代を担えるようなベンチャー企業が成長しにくくなっている。これはベンチャー企業の大部分が、不確実性の高いスタートアップ期に、成長の契機を掴めずに淘汰されているからである。特に、同時期のベンチャー企業は、いかにして技術・アイデア、資金、顧客、サプライヤー、経営に関する人材という経営資源を集めるかが重要な課題である。しかし、多くのベンチャー企業は、経営の転換期に直面した際、必要な経営資源が調達できず成長への軌道が描けないでいる。</p> <p>そこで本論文では、スタートアップ期の京都のベンチャー企業が、京都にある技術・アイデア、資金、顧客、人材などの経営資源提供者達を潜在的に確保しておくことの必要性を訴える。つまり、京都のスタートアップ期のベンチャー企業が柔軟な経営体制を構築するためには、京都に存在する経営資源提供者達とのネットワークを事前に形成し、予期しない事態にも対応できる能力を持っていることが必要であるということになる。</p> <p>そこで、京都のベンチャー企業が、スタートアップ期から成長の契機を掴むにあたり直面する問題を解決し成長へとテイクオフする為に鍵となる、潜在的な経営資源提供者達のネットワークの特徴を明らかにした。これは、不確実性の高いスタートアップ期のベンチャー企業の評価尺度となりえるものであり、これにより信用力評価が可能となれば、スタートアップ期のベンチャー企業へのリスクマネーの投下を促進させることができる。</p> <p>現在の京都府は開業率が廃業率を上回り、まさに有望なベンチャー企業の育成、発掘が待望される状況にある。そこで、ベンチャー企業に対し経営資源提供者達のネットワーク形成方法を示唆することができれば、ベンチャー企業のスタートアップ期の不確実性を削減し、リスクマネーの投下を促進し、多くのベンチャー企業が成長する可能性を高めることになる。そうなれば、伝統産業や既存産業による技術蓄積を活用した、京都特有のベンチャー企業が成長し、京都経済の活性化が実現されるであろう。</p>					